

気になる子を取り巻く環境を整えるために ~ 支援者と共に考える方策 ~

学校体制、支援者自身の力量 等、
「環境」整備を一緒に考えてみましょう!



名城大学 曾山和彦

2016.7.4

気になる子が溶けこむ 小学校授業



- 1 指示1動作(山郷小) 2009年、TVにて紹介

学童期は「知識生活時代」、環境さえ整えば、学びが楽しくて仕方ない
段階にある。まさに、そうした子どもたちの姿あり

- ユニットとルーティン(員弁東小) 私の中でのベスト1

A男を支える周りの友だちの力は教師一人の支援をはるかに超える

2

気になる子が溶けこむ 中学校授業



全校で授業スタイルを統一(和具中) *員弁東小も同様

- 1. 目標の提示、学習課題の提示、基礎・基本の確認
- 2. 個人追求(自分一人で考える・やってみる・活動する時間)
- 3. 「磨き合い」;ペア・グループから全体へつなげていく活動(仲間とかかわりながら考えを出し合い深め合い、高め合う活動の時間)
- 4. 振り返り(まとめ・定着・確認)

3

溶け込む授業づくりのヒント ~ 教師の声 & 成果につながったポイント ~

< 和具中教師の声 >

授業スタイルの統一により、生徒が落ち着いて学習に臨むようになった / 授業のはじめに「目標提示」、最後に「振り返り」があり、生徒が目的をもって1時間の授業に臨むようになってきた / グループ学習継続により、授業中の話し合いに慣れしてきた / 「磨き合い」の中で、わからないことを気軽に聞いたり、根気よく説明したりする姿が見られるようになってきた 等

< 成果につながったポイント >

- ・ルーティンの導入
- ・視覚情報の活用
- ・ペア・グループ活動の導入

私の大学授業も
似ています



日野高校、倉吉農業高校の参観授業もGood!

4

気になる子が溶けこむ 授業づくりに向けて ~ 体制推進のポイント ~

管理職と特別支援教育コーディネーターのタッグ

個別の指導計画作成
(子どもを見る共通の物差し)

各校には
3点が揃っています

定期的な校内委員会の開催



特別支援学校のセンター的機能

確認!



- 新設(2007):学校教育法第71条の3
・自校に在籍する子どもの教育に加え、幼稚園から高等学校に在籍する幼児児童生徒に対する助言や援助を、学校からの要請に基づき実施すること

この役割を「センター的機能」と呼ぶ。主な内容として、「教育相談機能」、「学校支援機能」、「教員研修機能」、「その他(教具貸し出し等)」がある

6

特に「教育相談機能」の充実に向けて

気になる子&支援者が安心するには

- 法律、発達障害の基礎知識をもつこと 今や、知らないでは済まされない
- 相手の話を聴くこと 口は一つに、耳二つ

7

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行
特に学校生活の様々な場面における合理的配慮に関する校内整備が必要。気になる子、保護者の声に応えるために

8

確認

自閉症スペクトラム障害(Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害
(DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

PDD(広汎性発達障害)

* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害(*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(*非定型自閉症と同義)

DSM- では PDDの診断名

9

必ず歩きたい「王道」

ASDへの支援のワザ

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う

感覚の過敏性
(例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等
字義性
(例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あそこの角を曲がらないと帰れないよう～

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

まずは相手との関係づくり
～基本は子どもとの関係づくりと同様～

- 関係が弱い相手とは「つくる」、関係が難しい相手とは「つくりなおす」。共に**関係づくり**

関係づくりの第一歩は **相手への関心**

「何が好きなんだろう?」「何が得意なんだろう?」「いいところは何だろう?」、等々、子どもとの関係づくりと同じ<エピソード>ハンゲル少年>

<呪文> いつでもどこでもリソース(資源)、リソース

保護者の声から見出す支援のヒント

- 先生は、私の話を否定することなく、いつも真剣に聴いてくださった。それが何よりもうれしかった (自閉症児の母) **傾聴**
- 構えずに話を聴いてほしい。一緒に考えましようと言ってほしい。そうすれば先生方を信頼できる (アスペルガー児の母) **エンプティスクリーン**

逆転移に注意!

文溪堂「hito*yume」2013年Vol. 15に支援のヒントが満載!

12

「言葉を伝える」ための大前提 ～相手の話を聴く～

自分の「聴き方」をロールプレイでチェック！

なぜ、ロールプレイなのか？（ロールプレイの意義）

ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬らない、斬られないために稽古を積む（河合）

13

傾聴

～全ての理論、技法を超えた基礎・基本～

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか（言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか）
- 相手の話を取ってしまったなかったか
- ジョイニング（波長合わせ）ができたか

話し上手は、聴き上手

14

傾聴の意義と基本技法

- クライアントの言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法
問

15

ジョイニング

基本技法を組み合わせ、相手の価値観等に波長を合わせる

失敗例

そんなに落ち込まないで、ポジティブに考えよう！！

そう思えたら相談に来てないわよ

相談するのやめよう

いつも失敗ばかりなんだから

16

関係づくりの「王道」ステップ

誰もが「鎧」を着ています



- First step; **鎧**を尊重する
↑ 相手の価値観等
- Second step; **手柄**は相手に返す
↑ 子どもの変化等

「洋服」の第1ボタンをはめれば、次のボタンはスムーズにはめることができます

17

元気をなくしている相手に使いたい！ サバイバル・クエスチョン

私は子育てができないダメな親です

大変な中で、よく頑張ってきましたね
支えになったことは何ですか？

これがリソース（資源）



18

元気をなくしている相手に伝えたい！ 例外探し

うまくやれていること(例外)はきっとある

「うざい！」と言う
暴言が「問題」

「お母さん、あのね」と
言う丁寧語が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた？
(**例外の責任追及**)
・「ごはんの前に一緒に遊んだから」
・「ゆっくりと話を聴いたから」
支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

19

「禁句」を使いがちな相手に伝えたい！ リフレーミングによる言葉かけ

宿題が半分までしか終わっていない
子どもを見て

まだ、できないの？ <禁句>

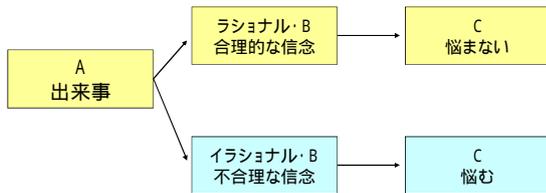
(年齢に応じて)



20

リフレーミングの理論ベース ～論理療法～

□ 骨子は「考え方次第で悩みは消える！」



21

「教育相談機能」の促進に向け ～失敗から学んだこと～

- 時には「漂う」
「助言」して失敗ばかり。だから時には
- 「でも」に注意
「でも」の次に来る「正論」が早すぎて
- 外部機関の力を借りる
外部機関の声が響きやすいことも

まず、医療ではなく、教育の場(教育センター等)につなぐ

22

相手への支援術 まとめ1 ～相手の「元気」を奪ってしまう助言～

先生、私はどうしたらいいでしょうか？

助言1: 「とにかく前向きに考えませんか」
(それができれば相談に来ないわよ)

助言2: 「 してみてください」で悩み解決
(次も困ったら先生に助けてもらえるわ)

助言3: 「 してみてください」で悩み未解決
(専門家のくせに何の役にも立たないわ)

23

相手への支援術 まとめ2 ～相手の「元気」を育む支援～

とにかく、話を聴く～基本5技法(受容、
繰り返し、明確化、支持、質問)の活用～
「あの人が頷くだけで出る勇気」

正論をぶつけない～「でもね」に注意～
「わかっているけど、あなたに言われたくない」

引き分けを目指す～勝たず、負けず～
「第3の道を探す」

時には「漂う」ことも大切！

24

頑張っている自分を好きになり、 相手の前に立つ するために

- 「毎日、少しずつよくなっている」(クーエの自己暗示法)
- 「あなたはあなた、私は私。だけど、もし私たちがお互いを必要としているなら、それは素晴らしいこと。しかし、もしそうじゃなければ、それはそれで仕方がないこと」(パールのゲシュタルトの祈り)
- 「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せ」(アランの幸福論)
- 「周りの人の力を借りる」(いいとこ四面鏡)

25

参考

実践事例データベース活用を!

26

参考

合理的配慮を学ばならこれ!

27

主な参考文献

- 「国際社会の範として異質な他者への博愛を育む道徳教育を」、杉森伸吉、明治図書「学校マネジメント」No.637
- 「自閉症だった私へ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」、杉山登志郎、学研
- 「自閉症の僕が跳びはねる理由」、東田直樹、エスコアール
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「思考の整理学」、外山滋比古、筑摩書房
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプロー schools がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「子どもに学んだ “王道” ステップン・ツー・スリー」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては
「王道ステップ」にまとめました!

HP ; 'KAZU・和・POCKET'

28